Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/02/15

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.91	0.10
JPY/THB	0.2547	-0.0006
USD/JPY	133.16	0.74
EUR/THB	36.39	0.14
EUR/USD	1.0738	0.0015
USD/CNH	6.837	0.013
SGD/THB	25.53	0.09
AUD/THB	23.69	0.14
USD/INR	82.76	0.04
USD Index	103.23	-0.11

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,854.0	2.1
WTI (Oil)	79.06	-1.08
Copper	8,946.5	8.5

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,652.76	-12.13
NIKKEI (JP)	27,602.77	175.45
DOW (US)	34,089.27	-156.66
S&P500 (US)	4,136.13	-1.16
SHCOMP (CN	3,293.28	9.12
DAX(GER)	15,380.56	-16.78

Bond

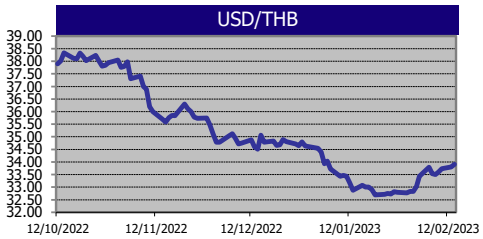
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.110	-0.009
10Y (THB)	2.550	-0.009
5Y (USD)	4.001	0.091
10Y (USD)	3.744	0.042

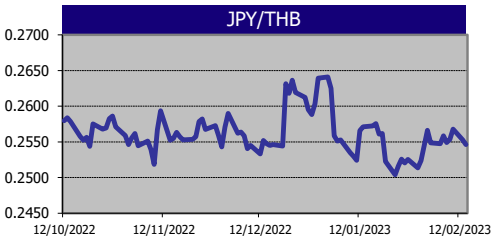
Fund Flow (Overseas Investors)

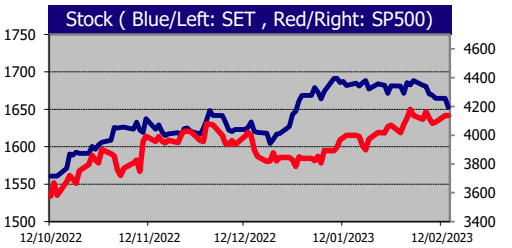
	Close	CHANGE
Stock net flow	(664)	459.6
Bond net flow	(1,543)	501.3

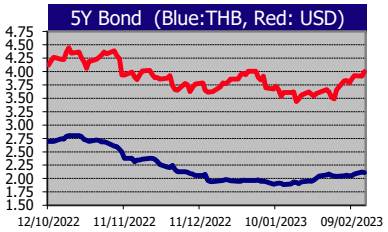
*compared with previous day

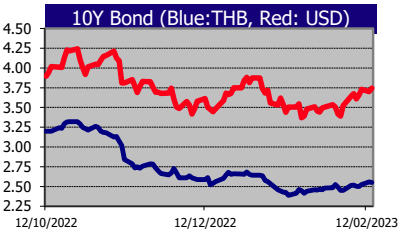
(Source: Bloomberg)

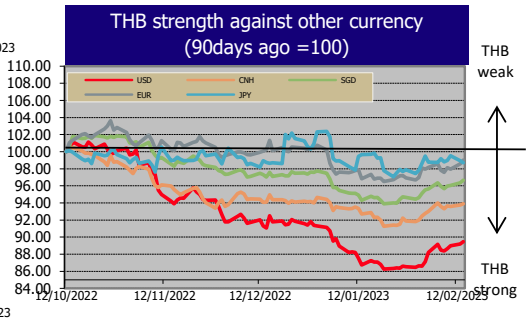


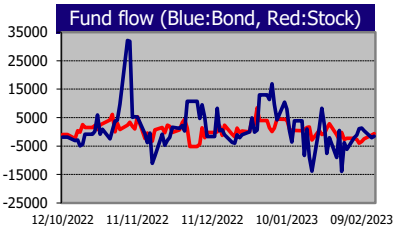


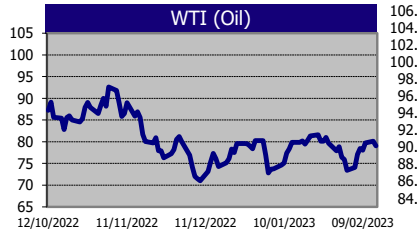












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

・昨日のドルバーツは僅かに上昇。33バーツ台後半でスタートしたドルバーツは、海外時間に米1月CPIの発表を控え、動意の乏しい推移が継続。そのまま海外時間に入り、注目された米1月CPIは前月比では市場予想通りの結果となるも、前年比では予想を上回る結果となり、発表直後のドルバーツは上下に振れる展開に。ただ、一服後は長期引き締め懸念が強まる中、米金利の上昇を横目にドルが多くの主要通貨に対し上昇。ドルバーツも底堅く推移し、結局33.91レベルで引けた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇した。132円台半ば付近でスタートしたドル円は、前日海外市場での上昇が一服する中、じりじりと下落。日銀総裁・副総裁の人事案が国会に提示されるも、事前の報道通りの内容であったことから特段相場への影響は見られず、一時ドル円は131円台後半まで下落する場面を見せた。海外時間に入り、米1月CPIが発表されると、発表直後は131円半ばから133円手前付近にかけて乱高下するも、インフレ長期化懸念の台頭とともに次第にドル買優勢の展開となり、終盤にかけて133円に乗せ、そのまま133.16レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

昨晩の米CPIは予想通りではあったもののやはり高い水準を維持していることから先々週の予想比非常に強かった米雇用統計のイメージが再度強まり金利は上昇しました。やはり、労働市場が強い間は景気減速懸念が高まる水準になるまで利上げを継続するという見方にシフトしてきているということだと考えます。また、バイデン大統領は次期NEC（国家経済会議）委員長にブレイナードFRB副議長を指名し2月20日前後に辞任するとみられています。ブレイナード氏はハト派メンバーとして捉えられていただけに、今後のFOMCはタカ派寄りに傾くのではとの憶測も出ております。今年中にFedは利下げをするだろうというのが市場織り込みである一方でFedは今年中の利下げを否定し中銀対市場の構図となっていますので、認識乖離が調整される局面は今後も続くと想定されボラタイルな状況には注意したいと強く思うところです。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.